

崇城大の小野新学長 「時代生き抜く人を」

9日就任

崇城大(熊本市)は3日、任期満了で中山峰男学長(76)が退任するのに伴い、9日付で新学長に就任する小野長門副学長(63)の記者会見を開いた。小野新学長は「将来の予測が困難な時代を生き抜く若者を柔軟かつ迅速に育てていく必要がある」と力を込めた。

崇城大は変化の速い時代に対応できる人材育成を目指す「第3期中長期計画」を掲げる。小野氏は「計画達成に向け創造的変革に挑

就任記者会見で抱負を述べる小野長門新学長(右)。左は退任する中山峰男氏



戦し、地域社会からますます信頼される大学に発展させたい」と抱負を述べた。会見に同席した中山氏は

小野氏について「前に出るタイプではないが、全体を俯瞰してアドバイスしながら、目的をしっかりと達成する」と話した。

小野氏は玉名市出身。防衛大学校を経て、東京工業大大学院博士課程修了。座右の銘は連合艦隊司令長官山本五十六の言葉「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ」。(小笠原麻結)